

寿

ことぶきだい

公民館報

優しく思いやり 明るく楽しい町 寿台

令和3年3月1日現在の寿台
 総世帯数 1,384世帯
 総人口 2,848人
 男 1,336人
 女 1,512人

松本市寿台公民館
 〒399-0021
 松本市寿豊丘649-1
 TEL. (0263)58-6561
 FAX. (0263)86-7964

解体工事が終了しました

■一丁目 原 孝美

かねてより行われていた一丁目市営住宅の解体工事が終了しました。更地が南北に広がる風が吹き抜けています。跡地はどうなるのか？決定が待たれる所です。

63世帯の小さな町会となりましてが、元氣一杯の岡町会長さんのもと少数精鋭で頑張っております。



今年度を振り返って

■二丁目 古屋 千恵

今年度はコロナに振り回される一年になりました。あらゆる行事が中止になり、町内公民館としての活動はほとんどできませんでした。しかし、コロナがもたらしたものは嫌な事ばかりではなく、今後の町内公民館の在り方を考えるきっかけにもなりました。やはり地域に必要なコミュニケーションの場だと改めて感じました。また行事が再開さ

れる事を祈念しております。

■三丁目 桜井 真一

今年を振り返るとコロナの影響で活動自粛をする場面が多く、ほとんどの行事が中止となる中、文化祭は規模を縮小しての開催となりましたが大いに盛り上がった事を覚えています。特に学校の行事も中止となっていた小・中学生の参加が多く、子ども達も自然と笑顔が出ていた事を思い出し、一時の自粛モードから解放された様な文化祭となりました。来年度は、活動と活気が戻れば良いですね。

■九丁目 竹内 良太郎

令和2年度は、コロナウイルスにより三密・自粛・中止となり、町内行事もほとんど開催できない中、草刈隊による公園の草刈、秋の落ち葉清掃はマスク着用で行いました。

昨年までは、研修旅行、サロン活動、敬老祝賀会と町内の皆さんの顔が拜見できたのに今年は寂しい限りでした。早くコロナウイルスが終息し通常の生活環境に戻ってほしいと願うばかりです。



コロナ禍での活動

■四丁目 本庄 明子

多くの活動は中止となりましたが、防災訓練は、災害が発生した場合の初期対応、安全確認など、参加者を最小限として、三密防止を図り、緑地帯で行いました。

敬老会は、ふれあいセンターにて実施、感染症対策を十分にして、一部は弁当と飲み物での会食会、二部は青年会の協力のもと、バーベキューをして、とても楽しく行いました。



■五丁目 清野 計佐代

コロナウイルス感染症防止対策を行い、防災訓練(炊き出し)を実行、コロナ禍でもできる事、それも訓練だと五丁目の皆さんは言ってくれました。



■八丁目 江藤 弘子

八丁目では運動会後の交流会や2月の豆まき会、お茶会が住民の親睦を深める場になっていきました。年度当初から行事が中止になり、交流を図る場が少なくなる中で11月にお楽しみ会という形で催しを開くことができました。密にならない、飲食なしなど制限付きの中、大勢の方が足を運んでくれました。

かつて寿台にも

早起き野球がありました。

■東町会 鈴木 英男

早起きは三文の得といわれ、スポーツを通じて体位向上し、親睦を図り松本早起き野球大会へ参加しました。市営球場(現在・やまびこドーム)へ行き、登録チーム81チームの中、東町会はチーム名をイースターとして19名で参加し、13勝5負4位の成績でした。早起き野球は終わってしまいましたが、記憶の中にいつまでも残っています。

編集後記

館報編集委員



原 孝美 (二丁目)

未曾有のコロナ禍の最中の公民館活動に戸惑いと不安がありました。館報編集委員会、公民館運営委員会、文化祭の取り組み等々、初めて経験することはばかりでした。

町内公民館では12月から「いきいき百歳体操」が始まり参加者は少人数ですが皆さん楽しみにしております。

新型コロナウイルスが終息し活気ある公民館活動ができることを願う毎日です。

町内公民館長会会長

古屋 千恵 (二丁目)

館報編集委員の仕事はさほど大変ではなく、出来上がっ

た記事の読み合わせくらいですが、その記事を取材し書いている方がいる事に感謝しています。このコロナ禍で行事も減っている中、小さな事でも出向き、情報を収集し文字に起こす。今年は特にご苦労が多かったと思います。普段何気なく見ていた公民館報ですが、ご家族皆様で見てくださいたいと思えました。

桜井 真一 (三丁目)

町内活動の自粛も多く、公民館としての活動もほとんどありませんでした。その中でも町会長をはじめとして役員がアイデアを出し合い小規模でも開催できる活動をしてきました。何より子ども達の参加の場所がなくなってしまう事が辛かったです。普段であれば春の入学式、夏のラジオ体操、秋の運動会等の行事が中止あるいは、縮小しての開催になり、来年度こそ、子ども達にのびのびさせたい。

本庄 明子 (四丁目)

コロナ禍の一年、あまり活動も出来ず、文化祭と敬老会のみ行いました。

文化祭は、食べ物販売せず、展示と発表会を行いました。

敬老会は、青年会の協力のもと、多くの方に出席いただき楽しい敬老会になりました。四丁目の三九郎は中止になりましたが、門松は二丁目にお願いして、お焚き上げを致しました。

清野 計佐代 (五丁目)

コロナウイルス感染症拡大で全国に、緊急事態宣言が発令され、町会・公民館の活動がすべて中止となり、「怖いね」「不安だね」、そんな声が聞かれるようになり、何もできない日々が続きました。

館報編集委員長

鈴木 英男 (東町会)

少子高齢・人口減少時を迎え、住民幼児・小学生・中学生が行事に積極的に参加されています。

問題視する中で見方ある、自身地域社会を作っていく公民館は始めからそのために造られた拠点で認め合える生活が作られると思います。

今年で傘寿に成りました。二年間協力誠にありがとうございました。

館報全市版編集委員

江藤 弘子 (八丁目)

沢山の行事が中止になる中、寿台文化祭が開催出来たことが何より心に残っています。プラ板工作が大盛況だったことはさることながら、町内公民館長の皆さんと協力してやれたことが本当に楽しかったです。

町会ではお茶会を開くこともできない一年でした。皆でワイワイできるような日常が戻ることを願わずにはいられません。一年間ありがとうございました。

三井 加代子 (九丁目)

今年度は、新型コロナウイルスの影響で殆どの行事が中止となるなど、館報のための記事ネタを探すのに苦労しましたが、なんとか最後まで発行する事ができました。特に、寿台文化祭は規模縮小となりましたが、当日は参加者全員に感染対策を徹底していただいた事に、無事開催できた事は良かったです。

コロナが終息し、また、かつての活気ある寿台に一日も早く戻れる事を願っています。

松本市公民館活動推進功労者表彰
おめでとうございます！

公民館活動推進功労者とは公民館委員として8年以上在職し、退任された方が対象となるものです。寿台地区からは上條敏さん(二丁目)に感謝状が贈呈されました。



上條さんは平成20年度から「文化委員」平成28年度から「文化委員長」として通算12年に渡り公民館活動の推進にご尽力されました。

当時のことをお聞きすると、「出店や展示・発表は現在に比べ数も多く、体育館のみの会場ですべてを行う事は大変だった。また、公民館は住民が集う福祉ひろばやふれあいセンターから距離があることも気掛かりだった。」とお話してくださいました。

他にも掲載しきれない当時の貴重なお話をお聞かせいただきました。ありがとうございます。また、長きにわたり寿台公民館委員として公民館活動にご尽力いただき感謝申し上げます。